

show queueing interface

キューイング情報を表示するには、**show queueing interface** コマンドを使用します。

show queueing interface *{{interface interface-number} | {null interface-number} | {vlan vlan-id}}*

シンタックスの説明

<i>interface</i>	インターフェイス タイプ。有効値は ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、および ge-wan です。
<i>interface-number</i>	モジュールおよびポート番号。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
null <i>interface-number</i>	ヌル インターフェイスを指定します。有効値は 0 です。
vlan <i>vlan-id</i>	VLAN ID を指定します。有効値は 1 ~ 4094 です。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

interface-number 引数はモジュールおよびポート番号を指定します。*interface-number* の有効値は、指定されたインターフェイス タイプ、および使用されるシャーシとモジュールによって異なります。たとえば、13 スロット シャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合に、ギガビット イーサネット インターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 1 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 になります。

show queueing interface コマンドは、ハードウェアにプログラミングされた絶対値を表示しません。ハードウェアにプログラミングされた値を確認するには、**show qm-sp port-data** コマンドを入力します。

例

次に、キューイング情報を表示する例を示します。

```
Router# show queueing interface fastethernet 5/1
Interface FastEthernet5/1 queueing strategy: Weighted Round-Robin
Port QoS is enabled
Port is untrusted
Extend trust state: trusted
Default COS is 0
Transmit queues [type = 2q2t]:
Queue Id      Scheduling  Num of thresholds
-----
1             WRR low    2
2             WRR high   2

WRR bandwidth ratios: 100[queue 1] 255[queue 2]
```

```
queue-limit ratios:      70[queue 1]  30[queue 2]

queue tail-drop-thresholds
-----
1      80[1] 100[2]
2      80[1] 100[2]

queue thresh cos-map
-----
1      1      0 1
1      2      2 3

Router#
```

show redundancy

RF 情報を表示するには、**show redundancy** コマンドを使用します。

show redundancy {clients | counters | history | states | switchover}

シンタックスの説明

clients	RF クライアントに関する情報を表示します。
counters	RF カウンタに関する情報を表示します。
history	RF の過去のステータス ログを表示します。
states	RF ステートに関する情報を表示します。
switchover	スイッチオーバー数、アクティブになってからのアップタイム、およびシステム アップタイプの合計を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、RF クライアントに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show redundancy clients
clientID = 0      clientSeq = 0      RF_INTERNAL_MSG
clientID = 25     clientSeq = 130   CHKPT RF
clientID = 5026   clientSeq = 130   CHKPT RF
clientID = 5029   clientSeq = 135   Redundancy Mode RF
clientID = 5006   clientSeq = 170   RFS client
clientID = 6      clientSeq = 180   Const OIR Client
clientID = 7      clientSeq = 190   PF Client
clientID = 5008   clientSeq = 190   PF Client
clientID = 28     clientSeq = 330   Const Startup Config
clientID = 29     clientSeq = 340   Const IDPROM Client
clientID = 65000  clientSeq = 65000 RF_LAST_CLIENT
Router#
```

出力では次の情報が表示されます。

- **clientID** : クライアントの ID 番号を表示します。
- **clientSeq** : クライアントの通知シーケンス番号を表示します。
- 現在の RF ステート

次に、RF カウンタに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show redundancy counters
Redundancy Facility OMs
      comm link up = 0
      comm link down down = 0

      invalid client tx = 0
      null tx by client = 0
      tx failures = 0
      tx msg length invalid = 0

      client not rxing msgs = 0
      rx peer msg routing errors = 0
      null peer msg rx = 0
      errored peer msg rx = 0

      buffers tx = 0
      tx buffers unavailable = 0
      buffers rx = 0
      buffer release errors = 0

      duplicate client registers = 0
      failed to register client = 0
      Invalid client syncs = 0
Router#
```

次に、RF 履歴に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show redundancy history
00:00:00 client added: RF_INTERNAL_MSG(0) seq=0
00:00:00 client added: RF_LAST_CLIENT(65000) seq=65000
00:00:02 client added: Const Startup Config Sync Clie(28) seq=330
00:00:02 client added: CHKPT RF(25) seq=130
00:00:02 client added: PF Client(7) seq=190
00:00:02 client added: Const OIR Client(6) seq=180
00:00:02 client added: Const IDPROM Client(29) seq=340
00:00:02 *my state = INITIALIZATION(2) *peer state = DISABLED(1)
00:00:02 RF_PROG_INITIALIZATION(100) RF_INTERNAL_MSG(0) op=0 rc=11
00:00:02 RF_PROG_INITIALIZATION(100) CHKPT RF(25) op=0 rc=11
00:00:02 RF_PROG_INITIALIZATION(100) Const OIR Client(6) op=0 rc=11
00:00:02 RF_PROG_INITIALIZATION(100) PF Client(7) op=0 rc=11
.
.
.
```

次に、RF ステータスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show redundancy states
my state = 13 -ACTIVE
peer state = 1 -DISABLED
  Mode = Simplex
  Unit = Primary
  Unit ID = 1

Redundancy Mode (Operational) = Route Processor Redundancy
Redundancy Mode (Configured) = Route Processor Redundancy
  Split Mode = Disabled
  Manual Swact = Disabled Reason: Simplex mode
  Communications = Down Reason: Simplex mode
```

```

client count = 11
client_notification_TMR = 30000 milliseconds
    keep_alive TMR = 4000 milliseconds
    keep_alive count = 0
keep_alive threshold = 7
    RF debug mask = 0x0

```

Router#

SSO を設定して **show redundancy states** コマンドを入力した場合、Redundancy Mode (Operational) フィールドおよび Redundancy Mode (Configured) フィールドに Stateful Switchover が表示されます。

次に、スイッチオーバー数、アクティブになってからのアップタイム、およびシステム アップタイムの合計を表示する例を示します。

```

Router# show redundancy switchover
Switchovers this system has experienced      : 1
Uptime since this supervisor switched to active : 1 minute
Total system uptime from reload              : 2 hours, 47 minutes

```

Router#

関連コマンド

コマンド	説明
mode	冗長モードを設定します。
redundancy	冗長コンフィギュレーション モードを開始します。
redundancy force-switchover	アクティブ スーパーバイザ エンジンからスタンバイ スーパーバイザ エンジンへのスイッチオーバーを強制します。

show rom-monitor

ROMMON ステータスを表示するには、**show rom-monitor** コマンドを使用します。

show rom-monitor {slot num} {sp | rp}

シンタックスの説明

slot num	表示する ROMMON のスロット番号を指定します。
sp	スイッチ プロセッサの ROMMON ステータスを表示します。
rp	ルート プロセッサの ROMMON ステータスを表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

show rom-monitor コマンドを入力すると、次の出力が表示されます。

- リージョン **region1** および **region2** : ROMMON イメージのステータス、および **region1** または **region2** イメージを起動する優先順位を表示します。ROMMON イメージのステータス値は次のとおりです。
 - **First run** : 新規イメージのチェックが実行中です。
 - **Invalid** : 新規イメージのチェックが完了し、アップグレードプロセスが開始しています。
 - **Approved** : ROMMON フィールドのアップグレードプロセスが完了しています。
- **Currently running** : 現在稼働中のイメージおよびリージョンを表示します。

sp または **rp** キーワードが必須となるのは、指定されたスロットにスーパーバイザ エンジンが搭載されている場合だけです。

例

次に、ROMMON 情報を表示する例を示します。

```
Router# show rom-monitor slot 1 sp
Region F1:APPROVED
Region F2:FIRST_RUN, preferred
Currently running ROMMON from F1 region
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
upgrade rom-monitor	ROMMON に関して実行優先順位を設定します。

show rpc

RPC 情報を表示するには、**show rpc** コマンドを使用します。

show rpc {applications | counters | status}

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	applications	RPC アプリケーションに関する情報を表示します。
	counters	RPC カウンタを表示します。
	status	RPC ステータスを表示します。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、RPC アプリケーションを表示する例を示します。

```
Router# show rpc applications
ID Dest Callback Application
1 0011 <remote> rpc-master
2 0011 <remote> cygnus-oir
3 0021 60201708 rpc-slave-33
4 0021 6022A514 idprom-MP
5 0021 60204420 msfc-oir
6 0011 <remote> Nipcon-SP
7 0011 <remote> sw_vlan_sp
8 0011 <remote> stp_switch_api
9 0011 <remote> pagp_rpc
10 0011 <remote> span_switch_rpc
11 0011 <remote> pf_rp_rpc
13 0011 <remote> mapping_sp
14 0011 <remote> logger-sp
17 0011 <remote> c6k_power_sp
18 0011 <remote> c6k_sp_environmental
19 0011 <remote> pagp_switch_rpc
20 0011 <remote> pm-cp
21 0021 602675B0 Nipcon-RP
22 0021 602283B0 pm-mp
23 0021 601F2538 sw_vlan_rp
24 0021 601F77D0 span_switch_sp_rpc
25 0021 601F7950 idbman_fec
26 0021 601F7F30 logger-rp
27 0021 601F80D8 pagp_switch_l3_split
28 0021 601F81C0 pagp_switch_sp2mp
29 0021 6026F190 c6k_rp_environmental
Router#
```

次に、RPC カウンタに関する情報を表示する例を示します。

■ show rpc

```
Router# show rpc counters
  ID Dest Rcv-req Xmt-req Q size Application
   1 0011 0       26      0   rpc-master
   2 0011 0      6221     0   cygnus-oir
   4 0021 15        0      0   idprom-MP
   5 0021 6222      0      0   msfc-oir
   7 0011 0      2024     0   sw_vlan_sp
   8 0011 0         3      0   stp_switch_api
   9 0011 0        188     0   pagp_rpc
  11 0011 0         4      0   pf_rp_rpc
  13 0011 0         2      0   mapping_sp
  14 0011 0         3      0   logger-sp
  17 0011 0         2      0   c6k_power_sp
  18 0011 0        66      0   c6k_sp_environmental
  19 0011 0       109     0   pagp_switch_rpc
  20 0011 0        33      0   pm-cp
  22 0021 126        0      0   pm-mp
  23 0021 5          0      0   sw_vlan_rp
  24 0021 14        0      0   span_switch_sp_rpc
  25 0021 22        0      0   idbman_fec
  26 0021 8          0      0   logger-rp
  27 0021 3          0      0   pagp_switch_l3_split
  28 0021 3          0      0   pagp_switch_sp2mp
Router#
```


show running-config

モジュール、レイヤ 2 VLAN、またはインターフェイスのステータスおよび設定を表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

show running-config [{*interface interface* } | {*module number*} | {*vlan vlan-id*}]

シンタックスの説明

interface interface	(任意) インターフェイス タイプを指定します。有効値は ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、および ge-wan です。
module number	(任意) モジュール番号を指定します。
vlan vlan-id	(任意) 情報表示する VLAN を指定します。有効値は 1 ~ 4094 です。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

場合によっては、**show interfaces** コマンドと **show running-config** コマンドで表示されるデュプレックス モードが異なる場合があります。この場合は、**show interfaces** コマンドで表示されるデュプレックス モードが、インターフェイスが実際に実行しているデュプレックス モードです。**show interfaces** コマンドは、インターフェイスの動作モードを表示しますが、**show running-config** コマンドは、インターフェイスに設定されているモードを表示します。

特定のインターフェイスに **show running-config** コマンドを使用した場合は、デュプレックス モード設定が表示されているにもかかわらず、速度設定が表示されないことがあります。この出力は、インターフェイス速度が **auto** に設定されており、速度を **auto** 以外に設定すると表示されているデュプレックス モードが動作設定になることを示します。このような設定の場合、このインターフェイスで動作中のデュプレックス モードは、**show running-config** コマンドで表示されるデュプレックス モードと一致しません。

例

次に、すべてのモジュールのモジュール設定およびステータス設定を表示する例を示します。

```
Router# show running-config
Building configuration...

Current configuration:
!
version 12.0
service timestamps debug datetime localtime
service timestamps log datetime localtime
no service password-encryption
!
hostname Router
```

```
!  
boot buffersize 126968  
boot system flash slot0:halley  
boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.120-6.5T.XE1.0.83.bin  
enable password lab  
!  
clock timezone Pacific -8  
clock summer-time Daylight recurring  
redundancy  
  main-cpu  
    auto-sync standard  
!  
ip subnet-zero  
!  
ip multicast-routing  
ip dvmrp route-limit 20000  
ip cef  
mls flow ip destination  
mls flow ipx destination  
cns event-service server  
!  
spanning-tree portfast bpdu-guard  
spanning-tree uplinkfast  
spanning-tree vlan 200 forward-time 21  
port-channel load-balance sdip  
!  
!  
!  
  shutdown  
!  
!  
.  
.  
.
```

show scp

SCP 情報を表示するには、**show scp** コマンドを使用します。

```
show scp {accounting | counters | {{mcast [group group-id] | inst}} | {process id} | status}
```

シンタックスの説明

accounting	SCP アカウンティングに関する情報を表示します。
counters	SCP カウンタに関する情報を表示します。
mcast	SCP マルチキャストに関する情報を表示します。
group group-id	(任意) 特定のグループおよびグループ ID の情報を表示します。有効値は 1 ~ 127 です。
inst	(任意) インスタンスに関する情報を表示します。
process id	(任意) SAP を SCP に登録したすべてのプロセスを表示します。
status	ローカル SCP サーバのステータス情報を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、SAP を SCP に登録したすべてのプロセスを表示する例を示します。

```
Router# show scp process
Sap Pid Name
=== === =====
0 180 CWAN-RP SCP Input Process
18 42 itasca
20 3 Exec
21 3 Exec
22 180 CWAN-RP SCP Input Process
Total number of SAP registered = 5
Router#
```

show snmp mib ifmib ifindex

すべてのシステム インターフェイスまたは指定したシステム インターフェイスについて、SNMP インターフェイス インデックス識別番号 (ifIndex 値) を表示するには、**show snmp mib ifmib ifindex** コマンドを使用します。

```
show snmp mib ifmib ifindex [interface
                             interface-number][:subinterface][.subinterface][port]
```

シンタックスの説明

<i>interface</i>	(任意) インターフェイス タイプ。有効値は ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、および ge-wan です。
<i>interface-number</i>	モジュールおよびポート番号。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<i>:subinterface</i>	(任意) サブインターフェイス番号。有効値は 0 です。
<i>.subinterface</i>	(任意) サブインターフェイス番号。有効値は 0 ~ 4,294,967,295 です。
<i>port</i>	(任意) インターフェイス番号

コマンドのデフォルト

すべてのインターフェイスの ifIndex 値が表示されます。

コマンド モード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

show snmp mib ifmib ifindex コマンドでは、CLI を使用してインターフェイスおよびサブインターフェイスに割り当てられた SNMP インターフェイス インデックス識別番号 (ifIndex 値) を表示できます。このコマンドを使用すると、ネットワーク管理ステーションを使用しなくても、これらの値を表示できます。

オプションの *interface-type*、*slot*、*port-adapter*、および *port* 引数を使用して特定のインターフェイスを指定しなかった場合は、システム上に存在するすべてのインターフェイスとサブインターフェイスの ifDescr と ifIndex のペアが表示されます。

システム上で使用可能なオプションを調べるには、**show snmp mib ifmib ifindex ?** コマンドを使用します。一般的な *interface-types* 値は、**async**、**dialer**、**ethernet**、**fastEthernet**、および **serial** です。

例

次に、特定のインターフェイスの ifIndex を表示する例を示します。

```
Router# show snmp mib ifmib ifIndex Ethernet2/0
Ethernet2/0: Ifindex = 2
```

次に、すべてのインターフェイスの ifIndex を表示する例を示します。

```
Router# show snmp mib ifmib ifindex
ATM1/0: Ifindex = 1
```

```

ATM1/0-aal5 layer: Ifindex = 12
ATM1/0-atm layer: Ifindex = 10
ATM1/0.0-aal5 layer: Ifindex = 13
ATM1/0.0-atm subif: Ifindex = 11
ATM1/0.9-aal5 layer: Ifindex = 32
ATM1/0.9-atm subif: Ifindex = 31
ATM1/0.99-aal5 layer: Ifindex = 36
ATM1/0.99-atm subif: Ifindex = 35
Ethernet2/0: Ifindex = 2
Ethernet2/1: Ifindex = 3
Ethernet2/2: Ifindex = 4
Ethernet2/3: Ifindex = 5
Null0: Ifindex = 14
Serial3/0: Ifindex = 6
Serial3/1: Ifindex = 7
Serial3/2: Ifindex = 8
Serial3/3: Ifindex = 9
    
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp ifindex persist	再起動後も保持される Interfaces MIB (IF-MIB) 内の ifIndex 値 (ifIndex 永続性) を特定のインターフェイス上だけでイネーブルにします。
snmp-server ifindex persist	ifIndex 値を、SNMP で使用するために再起動後も一定となるようにグローバルにイネーブル化します。

show spanning-tree

スパニングツリー ステートに関する情報を表示するには、**show spanning-tree** コマンドを使用します。

show spanning-tree [*bridge-group* | **active** | **backbonefast** | {**bridge** [*id*]} | **detail** | **inconsistentports** | {**interface** *interface interface-number*} | **root** | **summary** [*total*] | **uplinkfast** | {**vlan** *vlan-id*} | {**port-channel** *number*} | **pathcost-method**]

シンタックスの説明

bridge-group	(任意) ブリッジグループの番号。有効値は 1 ~ 255 です。
active	(任意) アクティブ インターフェイスに関するスパニングツリー情報だけを表示します。
backbonefast	(任意) スパニングツリー BackboneFast ステータスに関する情報を表示します。
bridge	(任意) ブリッジのステータスおよびコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
id	(任意) ブリッジ ID を表示します。
detail	(任意) スパニングツリー ステートに関する詳細情報を表示します。
inconsistentports	(任意) ルート不一致ステートに関する情報を表示します。
interface <i>interface</i>	(任意) インターフェイス タイプと番号を表示します。タイプの有効値は ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、および ge-wan です。
interface-number	(任意) モジュールおよびポート番号。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
root	(任意) ルートブリッジのステータスおよびコンフィギュレーションを表示します。
summary	(任意) ポート ステートのサマリーを表示します。
total	(任意) スパニングツリー ステート セクションのすべての行を表示します。
uplinkfast	(任意) スパニングツリー UplinkFast ステータスを表示します。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID を指定します。有効値は 1 ~ 4094 です。
port-channel <i>number</i>	(任意) チャンネル インターフェイスを指定します。有効値は 1 ~ 282 の範囲の最大 64 個の値です。
pathcost-method	(任意) 使用されているデフォルト パス コスト計算方式を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

pos、**atm**、および **ge-wan** キーワードは、Supervisor Engine 2 が搭載された Catalyst 6500 シリーズスイッチだけでサポートされています。

257 ~ 282 の **port-channel number** 値は、CSM および FWSM だけでサポートされています。

interface-number 引数はモジュールおよびポート番号を指定します。**interface-number** の有効値は、指定されたインターフェイスタイプ、および使用されるシャーシとモジュールによって異なります。たとえば、13 スロットシャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネットモジュールが搭載されている場合に、ギガビットイーサネットインターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 2 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 になります。

スパンニングツリーのアクティブステートをチェックする場合に多数の VLAN が存在するときには、**show spanning-tree summary total** コマンドを入力します。VLAN の一覧をスクロールしなくても VLAN の総数を表示できます。

例

次に、インターフェイス情報のサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree

VLAN0001
  Spanning tree enabled protocol ieee
  Root ID      Priority    4097
              Address     0004.9b78.0800
              This bridge is the root
              Hello Time  2 sec  Max Age 20 sec  Forward Delay 15 sec

  Bridge ID    Priority    4097 (priority 4096 sys-id-ext 1)
              Address     0004.9b78.0800
              Hello Time  2 sec  Max Age 20 sec  Forward Delay 15 sec
              Aging Time 15

Interface      Port ID      Designated      Port ID
Name           Prio.Nbr    Cost Sts         Cost Bridge ID  Prio.Nbr
-----
Gi2/1          128.65      4 LIS           0 4097 0004.9b78.0800 128.65
Gi2/2          128.66      4 LIS           0 4097 0004.9b78.0800 128.66
Fa4/3          128.195     19 LIS          0 4097 0004.9b78.0800 128.195
Fa4/4          128.196     19 BLK          0 4097 0004.9b78.0800 128.195

Router#
```

表 2-85 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-85 show spanning-tree コマンドの出カフィールド

フィールド	定義
Port ID Prio.Nbr	ポート ID およびプライオリティ番号
Cost	ポートコスト
Sts	ステータス情報

次に、アクティブインターフェイスのスパンニングツリー情報だけを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree active
UplinkFast is disabled
BackboneFast is disabled

VLAN1 is executing the ieee compatible Spanning Tree protocol
Bridge Identifier has priority 32768, address 0050.3e8d.6401
```

```
Configured hello time 2, max age 20, forward delay 15
Current root has priority 16384, address 0060.704c.7000
Root port is 265 (FastEthernet5/9), cost of root path is 38
Topology change flag not set, detected flag not set
Number of topology changes 0 last change occurred 18:13:54 ago
Times: hold 1, topology change 24, notification 2
      hello 2, max age 14, forward delay 10
Timers: hello 0, topology change 0, notification 0
.
.
.
Router#
```

次に、スパニングツリー **BackboneFast** ステータスを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree backbonefast
BackboneFast is enabled

BackboneFast statistics
-----
Number of transition via backboneFast (all VLANs) : 0
Number of inferior BPDUs received (all VLANs)    : 0
Number of RLQ request PDUs received (all VLANs)  : 0
Number of RLQ response PDUs received (all VLANs) : 0
Number of RLQ request PDUs sent (all VLANs)      : 0
Number of RLQ response PDUs sent (all VLANs)     : 0
Router#
```

次に、現在のブリッジのスパニングツリー情報だけを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree bridge
VLAN1
  Bridge ID Priority    32768
           Address    0050.3e8d.6401
           Hello Time  2 sec Max Age 20 sec Forward Delay 15 sec
.
.
.
Router#
```

次に、インターフェイスに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree detail

VLAN1 is executing the ieee compatible Spanning Tree protocol
Bridge Identifier has priority 4096, address 00d0.00b8.1401
Configured hello time 2, max age 20, forward delay 15
We are the root of the spanning tree
Topology change flag not set, detected flag not set
Number of topology changes 9 last change occurred 02:41:34 ago
from FastEthernet4/21
Times: hold 1, topology change 35, notification 2
hello 2, max age 20, forward delay 15
Timers: hello 1, topology change 0, notification 0, aging 300

Port 213 (FastEthernet4/21) of VLAN1 is forwarding
Port path cost 19, Port priority 128, Port Identifier 128.213.
Designated root has priority 4096, address 00d0.00b8.1401
Designated bridge has priority 4096, address 00d0.00b8.1401
Designated port id is 128.213, designated path cost 0
Timers: message age 0, forward delay 0, hold 0
Number of transitions to forwarding state: 1
BPDU: sent 4845, received 1
Router#
```


次に、特定のインターフェイスのスパニングツリーに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree interface fastethernet 5/9
Interface Fa0/10 (port 23) in Spanning tree 1 is ROOT-INCONSISTENT
Port path cost 100, Port priority 128
Designated root has priority 8192, address 0090.0c71.a400
Designated bridge has priority 32768, address 00e0.1e9f.8940

.
.
.
```

次に、特定のブリッジグループのスパニングツリーに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree 1
UplinkFast is disabled
BackboneFast is disabled

Bridge group 1 is executing the ieee compatible Spanning Tree protocol
Bridge Identifier has priority 32768, address 00d0.d39c.004d
Configured hello time 2, max age 20, forward delay 15
Current root has priority 32768, address 00d0.d39b.fddd
Root port is 7 (FastEthernet2/2), cost of root path is 19
Topology change flag set, detected flag not set
Number of topology changes 3 last change occurred 00:00:01 ago
    from FastEthernet2/2
Times: hold 1, topology change 35, notification 2
    hello 2, max age 20, forward delay 15
Timers: hello 0, topology change 0, notification 0 bridge aging time 15

Port 2 (Ethernet0/1/0) of Bridge group 1 is down

Port path cost 100, Port priority 128
Designated root has priority 32768, address 0050.0bab.1808
Designated bridge has priority 32768, address 0050.0bab.1808
Designated port is 2, path cost 0
Timers: message age 0, forward delay 0, hold 0
BPDU: sent 0, received 0

Router#
```

次に、ポートステータスのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree summary
Root bridge for: Bridge group 1, VLAN0001, VLAN0004-VLAN1005
VLAN1013-VLAN1499, VLAN2001-VLAN4094
EtherChannel misconfiguration guard is enabled
Extended system ID is enabled
Portfast is enabled by default
PortFast BPDU Guard is disabled by default
Portfast BPDU Filter is disabled by default
Loopguard is disabled by default
UplinkFast is disabled
BackboneFast is disabled
Pathcost method used is long
Name          Blocking Listening Learning Forwarding STP Active
-----
1 bridge      0          0          0          1          1
3584 vlans 3584 0 0 7168 10752
          Blocking Listening Learning Forwarding STP Active
-----
Total        3584      0          0          7169      10753
Router#
```

次に、スパニングツリー ステート セクションのすべての行を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree summary total
Root bridge for: Bridge group 10, VLAN1, VLAN6, VLAN1000.
Extended system ID is enabled.
PortFast BPDU Guard is disabled
EtherChannel misconfiguration guard is enabled
UplinkFast is disabled
BackboneFast is disabled
Default pathcost method used is long

Name                Blocking Listening Learning Forwarding STP Active
-----
105 VLANs 3433      0          0          105        3538

BackboneFast statistics
-----
Number of transition via backboneFast (all VLANs) :0
Number of inferior BPDUs received (all VLANs)   :0
Number of RLQ request PDUs received (all VLANs)  :0
Number of RLQ response PDUs received (all VLANs) :0
Number of RLQ request PDUs sent (all VLANs)      :0
Number of RLQ response PDUs sent (all VLANs)     :0
Router#
```

次に、特定の VLAN のスパニングツリーに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree vlan 200
VLAN0200
Spanning tree enabled protocol ieee
Root ID Priority 32768
  Address 00d0.00b8.14c8
  This bridge is the root
  Hello Time 2 sec Max Age 20 sec Forward Delay 15 sec
Bridge ID Priority 32768
  Address 00d0.00b8.14c8
  Hello Time 2 sec Max Age 20 sec Forward Delay 15 sec
Aging Time 300
Interface Role Sts Cost Prio.Nbr Status
-----
Fa4/4 Desg FWD 200000 128.196 P2p
Fa4/5 Back BLK 200000 128.197 P2p
Router#
```

表 2-86 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-86 show spanning-tree vlan コマンドの出カフィールド

フィールド	定義
Role	現在の 802.1w ロール。有効値は、Boun (boundary)、Desg (designated)、Root、Altn (alternate)、および Back (backup) です。
Sts	スパニング ツリー状態。有効値は、BKN* (broken) ¹ 、BLK (blocking)、DWN (down)、LTN (listening)、LBK (loopback)、LRN (learning)、および FWD (forwarding) です。
Cost	ポート コスト

表 2-86 **show spanning-tree vlan コマンドの出カフィールド (続き)**

フィールド	定義
Prio.Nbr	ポート プライオリティとポート番号で構成されるポート ID
Status	ステータス情報。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • P2p/Shr : インターフェイスは、スパンニング ツリーによってポイント ツー ポイント (それぞれ共有される) インターフェイスと見なされます。 • Edge : PortFast が設定され (default コマンドをグローバルに使用するか、または直接インターフェイス上で)、BPDU は受信されていません。 • *ROOT_Inc、*LOOP_Inc、*PVID_Inc、および *TYPE_Inc : ポートは不整合のため故障状態 (BKN*) です。ポートはルート不整合、ループ ガード不整合、PVID (ポート VLAN ID) 不整合、またはタイプ不整合です。 • Bound(type) : MST モードで、境界ポートを識別し、ネイバのタイプ (STP、RSTP、または PVST) を示します。 • Peer(STP) : PVRST rapid-pvst モードで、前のバージョンの 802.1D ブリッジに接続されているポートを識別します。

1. * については、Status フィールドの定義を参照してください。

次に、root inconsistent ステートのポートがあるかどうかを判別する例を示します。

Router# **show spanning-tree inconsistentports**

```

Name                Interface                Inconsistency
-----
VLAN1               FastEthernet3/1        Root Inconsistent
    
```

Number of inconsistent ports (segments) in the system :1
Router#

関連コマンド

コマンド	説明
spanning-tree backbonefast	すべてのイーサネット VLAN で BackboneFast をイネーブルにします。
spanning-tree cost	STP 計算に使用するインターフェイスのパス コストを設定します。
spanning-tree guard	ガード モードをイネーブルまたはディセーブルにします。
spanning-tree pathcost method	デフォルトのパス コスト計算方式を設定します。
spanning-tree portfast (interface configuration mode)	PortFast モードをイネーブルにします。
spanning-tree portfast bpdudfilter default	すべての PortFast ポートで、BPDU フィルタリングをデフォルトでイネーブルにします。
spanning-tree portfast bpduguard default	すべての PortFast ポートで、BPDU ガードをデフォルトでイネーブルにします。
spanning-tree port-priority	2 つのブリッジがルートブリッジとなるために競合している場合に、インターフェイスにプライオリティを設定します。
spanning-tree uplinkfast	UplinkFast をイネーブルにします。
spanning-tree vlan	VLAN 単位で STP を設定します。

show spanning-tree mst

MST プロトコルに関する情報を表示するには、**show spanning-tree mst** コマンドを使用します。

show spanning-tree mst [configuration [digest]]

show spanning-tree mst [instance-id] [detail]

show spanning-tree mst [instance-id] interface interface [detail]

シンタックスの説明

configuration	(任意) リージョン コンフィギュレーション情報を表示します。
digest	(任意) 現在の MSTCI に含まれている MD5 ダイジェストに関する情報を表示します。
instance-id	(任意) インスタンス ID 番号を指定します。有効値は 0 ~ 4094 です。
detail	(任意) MST プロトコルに関する詳細情報を表示します。
interface interface	(任意) インターフェイス タイプと番号を表示します。タイプの有効値は ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、 ge-wan 、 port-channel 、および vlan です。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

interface の有効値は、指定したインターフェイス タイプおよび使用されているシャーシおよびモジュールによって決まります。たとえば、13 スロット シャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合に、ギガビット イーサネット インターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 2 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 になります。

port-channel number の有効値は、1 ~ 282 の範囲の最大 64 の値です。257 ~ 282 の **port-channel number** 値は、CSM および FWSM だけでサポートされています。

vlan の有効値は 1 ~ 4094 です。

instance-id の有効値は 0 ~ 4094 です。

show spanning-tree mst configuration コマンドの出力表示に、警告メッセージが表示されることがあります。セカンダリ VLAN が、対応付けられたプライマリ VLAN と同じインスタンスにマッピングされていない場合に、このメッセージが表示されます。出力には、対応付けられたプライマリ VLAN と同じインスタンスにマッピングされていないセカンダリ VLAN のリストが含まれます。警告メッセージは次のとおりです。

These secondary vlans are not mapped to the same instance as their primary:
-> 3

出力がポート単位で同時に標準ブリッジと先行標準ブリッジの両方に適用される場合、**show spanning-tree mst configuration digest** コマンドの出力表示に、2 つの異なるダイジェストが表示されます。

先行標準の BPDU だけを送信するようにポートを設定する場合、先行標準フラグが **show spanning-tree** コマンドに表示されます。先行標準フラグの種類は次のとおりです。

- **Pre-STD** または **prestandard** (長形式) : ポートが先行標準 BPDU を送信するように設定されている場合、およびこのインターフェイス上で先行標準ネイバブリッジが検出された場合に、このフラグが表示されます。
- **Pre-STD-Cf** または **prestandard (config)** (長形式) : 先行標準 BPDU を送信するようにポートを設定し、そのポートで先行標準 BPDU が受信されない場合、自動検出メカニズムが失敗した場合、または先行標準ネイバが存在しない場合に設定が間違っている場合、このフラグが表示されます。
- **Pre-STD-Rx** または **prestandard (rcvd)** (長形式) : 先行標準 BPDU がポートで受信され、先行標準 BPDU を送信するようにポートを設定していない場合に、このフラグが表示されます。ポートは先行標準 BPDU を送信しますが、先行標準ネイバとのやりとりを自動検出メカニズムだけに依存しないようにポートの設定を変更することを推奨します。

設定が先行標準に適合していない場合 (たとえば、単一の MST インスタンス ID が 16 以上の場合)、先行標準ダイジェストは計算されず、次の出力が表示されます。

```
Router# show spanning-tree mst configuration digest
Name      [region1]
Revision  2      Instances configured 3
Digest    0x3C60DBF24B03EBF09C5922F456D18A03
Pre-std Digest  N/A, configuration not pre-standard compatible
Router#
```

MST BPDU には、リージョン名、リージョン レビジョン、および MST コンフィギュレーションの VLAN と インスタンス間のマッピングの MD5 ダイジェストで構成される MSTCI が含まれます。

出力の定義については、**show spanning-tree** コマンドを参照してください。

例

次に、リージョン設定に関する情報を表示する例を示します。

```
Router> show spanning-tree mst configuration
Name      [leo]
Revision  2702
Instance  Vlans mapped
-----
0         1-9,11-19,21-29,31-39,41-4094
1         10,20,30,40
-----
```

次に、追加の MST プロトコル値を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree mst 3 detail
##### MST03 vlans mapped: 3,3000-3999
Bridge address 0002.172c.f400 priority 32771 (32768 sysid 3)
Root this switch for MST03

GigabitEthernet1/1 of MST03 is boundary forwarding
Port info port id 128.1 priority 128
cost 20000
Designated root address 0002.172c.f400 priority 32771
cost 0
Designated bridge address 0002.172c.f400 priority 32771 port
```

```
id 128.1
Timers: message expires in 0 sec, forward delay 0, forward transitions 1
Bpdus (MRecords) sent 4, received 0

FastEthernet4/1 of MST03 is designated forwarding
Port info port id 128.193 priority 128 cost
200000
Designated root address 0002.172c.f400 priority 32771
cost 0
Designated bridge address 0002.172c.f400 priority 32771 port id
128.193
Timers: message expires in 0 sec, forward delay 0, forward transitions 1
Bpdus (MRecords) sent 254, received 1

FastEthernet4/2 of MST03 is backup blocking
Port info port id 128.194 priority 128 cost
200000
Designated root address 0002.172c.f400 priority 32771
cost 0
Designated bridge address 0002.172c.f400 priority 32771 port id
128.193
Timers: message expires in 2 sec, forward delay 0, forward transitions 1
Bpdus (MRecords) sent 3, received 252
Router#
```

次に、特定のインターフェイスの MST 情報を表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree mst 0 interface fastethernet 4/1 detail
Edge port: no (trunk) port guard : none
(default)
Link type: point-to-point (point-to-point) bpdu filter: disable
(default)
Boundary : internal bpdu guard : disable
(default)
FastEthernet4/1 of MST00 is designated forwarding
Vlans mapped to MST00 1-2,4-2999,4000-4094
Port info port id 128.193 priority 128 cost
200000
Designated root address 0050.3e66.d000 priority 8193
cost 20004
Designated ist master address 0002.172c.f400 priority 49152
cost 0
Designated bridge address 0002.172c.f400 priority 49152 port id
128.193
Timers: message expires in 0 sec, forward delay 0, forward transitions 1
Bpdus sent 492, received 3
Router#
```

次に、現在の MSTCI に含まれている MD5 ダイジェストを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree mst configuration digest
Name [mst-config]
Revision 10 Instances configured 25
Digest 0x40D5ECA178C657835C83BBBCB16723192
Pre-std Digest 0x27BF112A75B72781ED928D9EC5BB4251
Router#
```

次に、CIST ルート ポートであるポート上のリージョンの境界にある、すべての MST インスタンスに対する新規のマスター ロールを表示する例を示します。

```
Router# show spanning-tree mst interface fastethernet4/9

FastEthernet4/9 of MST00 is root forwarding
Edge port: no (default) port guard : none (default)
```

```
Link type: point-to-point (auto)          bpdu filter: disable      (default)
Boundary : boundary (RSTP)              bpdu guard : disable     (default)
Bpdus sent 3428, received 6771
```

```
Instance Role Sts Cost          Prio.Nbr Vlans mapped
-----
0          Root FWD 200000    128.201  2-7,10,12-99,101-999,2001-3999,4001-4094
8          Mstr FWD 200000    128.201  8,4000
9          Mstr FWD 200000    128.201  1,9,100
11         Mstr FWD 200000    128.201  11,1000-2000
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
spanning-tree mst	任意の MST インスタンスのパス コストおよびポート プライオリティ パラメータを設定します。
spanning-tree mst forward-time	Catalyst 6500 シリーズ スイッチ上のすべてのインスタンスに対して転送遅延タイマーを設定します。
spanning-tree mst hello-time	Catalyst 6500 シリーズ スイッチ上のすべてのインスタンスに対して hello タイム遅延タイマーを設定します。
spanning-tree mst max-hops	BPDU が廃棄されるまでのリージョンの最大ホップ数を指定します。
spanning-tree mst root	インスタンスのプライマリ ルートとセカンダリ ルートを指定したり、ブリッジプライオリティ、およびタイマー値を設定したりします。

show standby delay

遅延期間に関する HSRP 情報を表示するには、**show standby delay** コマンドを使用します。

show standby delay [*type number*]

シンタックスの説明

type number (任意) 出力を表示するインターフェイスのタイプおよび番号

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、遅延期間に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show standby delay

Interface           Minimum Reload
Ethernet0/3         1           5
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
standby delay	HSRP グループを初期化するまでの遅延期間を設定します。
minimum reload	

show sup-bootflash

show sup-bootflash ファイル システムに関する情報を表示するには、**show sup-bootflash** コマンドを使用します。

show sup-bootflash [all | chips | fileys]

シンタックスの説明

all	(任意) 使用可能なすべてのフラッシュの情報を表示します。
chips	(任意) フラッシュ チップに関する情報を表示します。
fileys	(任意) ファイル システムに関する情報を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、ブートフラッシュ情報のサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show sup-bootflash
-#- ED --type-- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- name
1  .. image   EBC8FC4D A7487C   6 10700796 Nov 19 1999 07:07:37 halley
2  .. unknown C7EB077D EE2620   25 4644130 Nov 19 1999 07:50:44 cat6000-sup_
5-3-3-CSX.bin

645600 bytes available (15345184 bytes used)
Router#
```

次に、すべてのブートフラッシュ情報を表示する例を示します。

```
Router# show sup-bootflash all
-#- ED --type-- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- name
1  .. image   EBC8FC4D A7487C   6 10700796 Nov 19 1999 07:07:37 halley
2  .. unknown C7EB077D EE2620   25 4644130 Nov 19 1999 07:50:44 cat6000-sup_
5-3-3-CSX.bin

645600 bytes available (15345184 bytes used)

----- F I L E   S Y S T E M   S T A T U S -----
Device Number = 2
DEVICE INFO BLOCK: bootflash
  Magic Number           = 6887635   File System Vers = 10000   (1.0)
  Length                 = 1000000   Sector Size     = 40000
  Programming Algorithm = 19         Erased State    = FFFFFFFF
  File System Offset     = 40000   Length = F40000
  MONLIB Offset         = 100     Length = F568
  Bad Sector Map Offset = 3FFF8   Length = 8
  Squeeze Log Offset    = F80000   Length = 40000
  Squeeze Buffer Offset = FC0000   Length = 40000
```

```

    Num Spare Sectors      = 0
    Spares:
STATUS INFO:
    Writable
    NO File Open for Write
    Complete Stats
    No Unrecovered Errors
    No Squeeze in progress
USAGE INFO:
    Bytes Used      = EA2620  Bytes Available = 9D9E0
    Bad Sectors     = 0        Spared Sectors  = 0
    OK Files        = 2        Bytes = EA2520
    Deleted Files   = 0        Bytes = 0
    Files w/Errors  = 0        Bytes = 0

```

***** Intel SCS Status/Register Dump *****

```

COMMON MEMORY REGISTERS: Bank 0
    Intelligent ID Code : 890089
    Compatible Status Reg: 800080

```

```

DEVICE TYPE:
    Layout           : Paired x16 Mode
    Write Queue Size : 64
    Queued Erase Supported : No

```

Router#

次に、フラッシュ チップに関する情報を表示する例を示します。

Router# **show sup-bootflash chips**

***** Intel SCS Status/Register Dump *****

```

COMMON MEMORY REGISTERS: Bank 0
    Intelligent ID Code : 890089
    Compatible Status Reg: 800080

```

```

DEVICE TYPE:
    Layout           : Paired x16 Mode
    Write Queue Size : 64
    Queued Erase Supported : No

```

Router#

次に、ファイル システムに関する情報を表示する例を示します。

Router# **show sup-bootflash fileys**

```

----- F I L E   S Y S T E M   S T A T U S -----
    Device Number = 2
DEVICE INFO BLOCK: bootflash
    Magic Number      = 6887635  File System Vers = 10000    (1.0)
    Length            = 1000000  Sector Size      = 40000
    Programming Algorithm = 19    Erased State     = FFFFFFFF
    File System Offset = 40000   Length = F40000
    MONLIB Offset     = 100     Length = F568
    Bad Sector Map Offset = 3FFF8   Length = 8
    Squeeze Log Offset = F80000  Length = 40000
    Squeeze Buffer Offset = FC0000  Length = 40000
    Num Spare Sectors  = 0
    Spares:
STATUS INFO:
    Writable

```

```
NO File Open for Write
Complete Stats
No Unrecovered Errors
No Squeeze in progress
USAGE INFO:
Bytes Used      = EA2620 Bytes Available = 9D9E0
Bad Sectors    = 0       Spared Sectors = 0
OK Files       = 2       Bytes = EA2520
Deleted Files  = 0       Bytes = 0
Files w/Errors = 0       Bytes = 0

Router#
```

show system jumbomtu

グローバル MTU 設定を表示するには、**show system jumbomtu** コマンドを使用します。

show system jumbomtu

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードまたは引数はありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード 特権 EXEC (#)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、グローバル MTU 設定を表示する例を示します。

```
Router# show system jumbomtu
Global Ethernet MTU is 1550 bytes.
Router#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	system jumbomtu	レイヤ 2 およびレイヤ 3 パケットの最大サイズを設定します。

show tcam counts

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) 統計情報を表示するには、**show tcam counts** コマンドを使用します。

show tcam counts [*module number*]

シンタックスの説明	module number (任意) モジュール番号を指定します。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
------------------	---

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース 変更内容
	12.2(18)ZY このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン **module number** キーワードおよび引数は、モジュールおよびポート番号を指定します。*number* の有効値は、使用するシャーシおよびモジュールによって異なります。たとえば、13 スロットシャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合、モジュール番号の有効値は 2 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 です。

例 次に、TCAM の統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show tcam counts
          Used      Free      Percent Used      Reserved
          ----      -
Labels:      8        504             1
ACL_TCAM
-----
Masks:      6        4090             0              0
Entries:    37        32731            0              0
QOS_TCAM
-----
Masks:      3        4093             0              0
Entries:    20        32748            0              0
LOU:        0         128              0
ANDOR:      0         16               0
ORAND:      0         16               0
ADJ:        1        2047             0
Router#
```

表 2-87 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-87 show tcam counts コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Labels Used	使用されているラベル数 (最大 512 個)
Labels Free	残りの空きラベル数
Labels Percent Used	使用されているラベルの割合 (パーセント)
Masks Used	使用されているマスク数 (最大 4096 個)
Masks Free	残りの空きマスク数
Masks Percent Used	使用されているマスクの割合 (パーセント)
Entries Used	使用されているエントリ数 (最大 32,767 個)
Entries Free	残りの空きエントリ数
Entries Percent Used	使用されているエントリの割合 (パーセント)

show tcam interface

インターフェイス ベースの TCAM 情報を表示するには、**show tcam interface** コマンドを使用します。

```
show tcam interface {interface interface-number} | {null interface-number} |
{vlan vlan-id} {acl {in | out}} | {qos {type1 | type2}} type [detail | module number]
```

シンタックスの説明

<i>interface</i>	(任意) インターフェイス タイプ。有効値は、 ethernet 、 fastethernet 、 gigabitethernet 、 tengigabitethernet 、 pos 、 atm 、および ge-wan です。
<i>interface-number</i>	(任意) モジュールおよびポート番号。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
null <i>interface-number</i>	(任意) ヌル インターフェイスを指定します。有効値は 0 です。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) VLAN を指定します。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
acl in	(任意) ACL ベースの着信パケットを表示します。
acl out	(任意) ACL ベースの発信パケットを表示します。
qos type1	(任意) QoS ベースのタイプ 1 パケットを表示します。
qos type2	(任意) QoS ベースのタイプ 2 パケットを表示します。
<i>type</i>	表示するプロトコル タイプ。有効値は arp 、 ipv4 、 ipv6 、 mpls 、および other です。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
module <i>number</i>	(任意) モジュール番号を指定します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

TCAM ACL 一致カウンタをクリアするには、**clear mls acl counters** コマンドを使用します。

例

次に、インターフェイス ベースの TCAM 情報を表示する例を示します。

```
Router# show tcam interface vlan 7 acl in ip
deny ip any any
permit ip 20.20.0.0 0.0.255.255 22.22.0.0 0.0.255.255
redirect ip 20.21.0.0 0.0.255.255 22.23.0.0 0.0.255.255
permit tcp 24.24.0.0 0.0.255.255 30.30.0.0 0.0.255.255
Fragments (1 match)
permit tcp 25.25.0.0 0.0.255.255 31.31.0.0 0.0.255.255
fragments
```

```

permit tcp 25.25.0.0 0.0.255.255 range 30000 30020 31.31.0.0
0.0.255.255 range 10000 10010 (102 matches)
permit tcp 24.24.0.0 0.0.255.255 eq 9000 30.30.0.0 0.0.255.255
eq telnet
deny ip any any
deny ip any any
Router#

```

次に、TCAM の詳細情報を表示する例を示します。

```
Router# show tcam interface fa5/2 acl in ip detail
```

```

-----
DPort - Destination Port   SPort - Source Port       TCP-F - U -URG
Pro  - Protocol
I    - Inverted LOU        TOS   - TOS Value           - A -ACK
rtr  - Router
MRFM - M -MPLS Packet      TN    - T -Tcp Control         - P -PSH
COD  - C -Bank Care Flag   - R   -Recirc. Flag       - N   -Non-cachable     - R   -RST
      - I -OrdIndep. Flag
      - F -Fragment Flag   CAP  - Capture Flag         - S   -SYN
      - D -Dynamic Flag
      - M -More Fragments  F-P  - FlowMask-Prior.     - F   -FIN
T    - V(Value)/M(Mask)/R(Result)
X    - XTAG                (*)  - Bank Priority
-----

Interface: 1018  label: 1  lookup_type: 0
protocol: IP  packet-type: 0

+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
|T|Index| Dest Ip Addr | Source Ip Addr| DPort | SPort | TCP-F
|Pro|MRFM|X|TOS|TN|COD|F-P|
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
V 18396      0.0.0.0      0.0.0.0      P=0          P=0          -----
  0 ---- 0  0 -- --- 0-0
M 18404      0.0.0.0      0.0.0.0      0            0
  0 ---- 0  0
R rslt: L3_DENY_RESULT          rtr_rslt: L3_DENY_RESULT

V 36828      0.0.0.0      0.0.0.0      P=0          P=0          -----
  0 ---- 0  0 -- --- 0-0
M 36836      0.0.0.0      0.0.0.0      0            0
  0 ---- 0  0
R rslt: L3_DENY_RESULT (*)      rtr_rslt: L3_DENY_RESULT (*)
Router#

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear mls acl counters	MLS ACL カウンタをクリアします。

show tech-support

問題を報告するときに Cisco TAC にとって役立つ情報を表示するには、**show tech-support** コマンドを使用します。

```
show tech-support [cef | ipmulticast [vrf instance-number] | isis | password [page] |
platform | page | rsvp]
```

シンタックスの説明

cef	(任意) CEF 関連 TAC 情報を表示します。
ipmulticast	(任意) IP マルチキャスト関連 TAC 情報を表示します。
vrf <i>instance-number</i>	(任意) VRF インスタンス番号を指定します。
isis	(任意) CLNS および ISIS 関連 TAC 情報を表示します。
password	(任意) 出力からパスワードおよびその他のセキュリティ情報が除外されます。
page	(任意) 一度に情報を 1 ページ分出力します。
platform	(任意) プラットフォーム固有の TAC 情報を表示します。
rsvp	(任意) IP RSVP 関連 TAC 情報を表示します。

コマンドのデフォルト

デフォルト設定は次のとおりです。

- 出力は改ページなしで表示されます。
- パスワードおよび他のセキュリティ情報は出力から除かれます。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

show tech-support 出力を中断および終了するには、**CTRL**、**ALT**、および **6** のキーを同時に押して離します。

次の出力行を表示するには、**Return** キーを押します。次の情報ページを表示するには、**Space** キーを押します。**page** キーワードを入力しない場合は、出力がスクロールします (改ページで停止しません)。

password キーワードを入力しなかった場合、出力内のパスワードおよびその他のセキュリティ依存情報は、ラベル [removed] で置き換えられます。

show tech-support コマンドは、複数の **show** コマンドが組み合わされたものであり、出力が長くなることがあります。**show tech-support** コマンドの出力例については、一覧表示されている各 **show** コマンドを参照してください。

引数を指定しないで **show tech-support** コマンドを入力すると、出力には次の **show** コマンドと同等な結果が表示されます (ただし、これらに限定されません)。

- **show version**
- **show running-config**
- **show stacks**
- **show interfaces**
- **show controllers**
- **show process memory**
- **show process cpu**
- **show buffers**
- **show logging**
- **show module**
- **show power**
- **show environment**
- **show interfaces switchport**
- **show interfaces trunk**
- **show vlan**
- **show mac-address-table**
- **show spanning-tree**

ipmulticast キーワードを入力した場合、出力には次の **show** コマンドの結果が表示されます（ただし、これらに限定されません）。

- **show ip pim interface**
- **show ip pim interface count**
- **show ip pim interface df**
- **show ip pim mdt**
- **show ip pim mdt bgp**
- **show ip pim neighbor**
- **show ip pim rp**
- **show ip pim rp metric**
- **show ip igmp groups**
- **show ip igmp interface**
- **show mls ip multicast rp-mapping gm-cache**
- **show ip mroute count**
- **show ip mroute**
- **show ip mcache**
- **show ip dvmrp route**
- **show mmls msc rpdf-cache**
- **show mmls gc process**

isis キーワードを入力した場合、出力には **show isis** コマンドと同等な結果が表示されます。

rsvp キーワードを入力した場合、出力には **show ip rsvp** コマンドと同等な結果が表示されます。

例

show tech-support コマンドの出力例については、「使用上のガイドライン」に一覧表示されているコマンドを参照してください。

show top counters interface report

TopN レポートと情報を表示するには、**show top counters interface report** コマンドを使用します。

show top counters interface report [*number*]

シンタックスの説明

<i>number</i>	(任意) 表示するレポートの数。有効値は、1 ~ 5 です。
---------------	--------------------------------

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、ファスト イーサネット、ギガビット イーサネット、および 10 ギガビット イーサネットのポートだけでサポートされます。

TopN 要求を入力すると、一連のポーリングが実行され、Catalyst 6500 シリーズ スイッチ内の適用可能なポートすべてのカウンタが読み取られ、情報が保存されます。その後、TopN プロセスは指定されたインターバルの間スリープ状態になります。ウェイクアップ後、もう一度ポーリングが実行され、ポートからカウンタ情報が読み取られます。2 組のデータの差異が格納されます。次にポートがソートされ、ポートは 7 種類の統計情報の 1 つを選択し、TopN レポートが生成されます。

次の場合、ポート統計は表示されません。

- 最初のポーリングの際にポートが存在しなかった場合
- 2 度めのポーリングの際にポートが存在しなかった場合
- ポーリング インターバル中にポートの速度またはデュプレックスが変更された場合
- ポーリング インターバル中に、ポートのタイプがレイヤ 2 からレイヤ 3 へ、またはレイヤ 3 からレイヤ 2 へ変更された場合



(注)

レポート表示フォーマットについては、1 行 80 文字という制限により、*Tx/Rx-okts*、*Tx/Rx-bcst*、および *Tx/Rx-mcst* カラム用に確保されるのは 10 スペースだけです。これらのカラムが 10 桁より大きい場合、表示は次の行にラップされます。

TopN プロセスを Telnet セッションから開始して、TopN プロセスが完了する前に Telnet セッションが終了した場合、すべてのバックグラウンド TopN プロセスが続行して、TopN レポートを生成しますが、フォアグラウンドの TopN プロセスは Telnet セッションが終了すると終了します。

非常に短いインターバル (10 秒) で多数のポート (13 スロット × 96 ポート/スロットなど) の TopN レポートを生成する場合、最初のポーリングと 2 回めのポーリングの間の実際のインターバル時間は、ポーリングの所要時間のために、指定されたインターバル時間より長くなる場合があります。

例

次に、TopN レポートと情報を表示する例を示します。

```
Router# show top counters interface report
Id Start Time                Int N   Sort-By   Status   Owner
-----
1  08:18:25 UTC Tue Nov 23 2004 76 20  util     done    console
2  08:19:54 UTC Tue Nov 23 2004 76 20  util     done    console
3  08:21:34 UTC Tue Nov 23 2004 76 20  util     done    console
4  08:26:50 UTC Tue Nov 23 2004 90 20  util     done    bambam onvty0 (9.10.69.13)
Router#
```

次に、特定のレポートについて TopN レポートと情報を表示する例を示します。

```
Router# show top counters interface report 1
Started By      : console
Start Time     : 08:18:25 UTC Tue Nov 23 2004
End Time       : 08:19:42 UTC Tue Nov 23 2004
Port Type      : All
Sort By        : util
Interval       : 76 seconds
Port   Band  Util Bytes      Packets      Broadcast  Multicast  In-  Buf-
      width  (Tx + Rx)    (Tx + Rx)    (Tx + Rx)  (Tx + Rx)  err  ovflw
-----
Fa2/5  100   50  726047564  11344488  11344487  1          0    0
Fa2/48 100   35  508018905  7937789   0          43       0    0
Fa2/46 100   25  362860697  5669693   0          43       0    0
Fa2/47 100   22  323852889  4762539   4762495   43       0    0
Fa2/6  100   15  217815835  3403372   0          39       21   0
Fa2/44 100   10  145146009  2267900   0          43       0    0
Gi4/15 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/14 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/13 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/12 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/11 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/10 1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/9  1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/8  1000  0   776         2           0           2         0    0
Gi4/7  1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/6  1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/5  1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/4  1000  0   0           0           0           0         0    0
Gi4/3  1000  0   776         2           0           2         0    0
Gi4/2  1000  0   0           0           0           0         0    0
Router#
```

次に、保留中ステータスの TopN レポートを要求した場合の表示例を示します。

```
Router# show top counters interface report 4
Id  Start time                Int N   Sort-by   Status   Owner (type/machine/user)
-----
4  1/24/2004,11:34:26  30  20  In-Errors  pending  Console//
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear top counters interface report	TopN レポートをクリアします。
collect top counters interface	TopN プロセスおよび特定の TopN レポートを表示します。

show udld

管理および動作上の UDLD ステータスを表示するには、**show udld** コマンドを使用します。

show udld [*interface-id* | **neighbors**]

シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	(任意) インターフェイス名を指定します。
neighbors	(任意) ネイバ情報だけを表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

interface-id 値を入力しなかった場合は、すべてのインターフェイスの管理および動作上の UDLD ステータスが表示されます。

例

次に、単一のインターフェイスの UDLD ステートを表示する例を示します。

```
Router# show udld gigabitethernet2/2

Interface Gi2/2
---
Port enable administrative configuration setting: Follows device default
Port enable operational state: Enabled
Current bidirectional state: Bidirectional
Current operational state: Advertisement
Message interval: 60
Time out interval: 5
No multiple neighbors detected
  Entry 1
  ---
  Expiration time: 146
  Device ID: 1
  Current neighbor state: Bidirectional
  Device name: 0050e2826000
  Port ID: 2/1
  Neighbor echo 1 device: SAD03160954
  Neighbor echo 1 port: Gi1/1

  Message interval: 5
  CDP Device name: 066527791
Router#
```

次に、ネイバ情報だけを表示する例を示します。

```

Router# show udd neighbors
Port      Device Name          Device ID  Port-ID OperState
-----
Gi3/1     SAL0734K5R2         1         Gi4/1  Bidirectional
Gi4/1     SAL0734K5R2         1         Gi3/1  Bidirectional
Router#

```

関連コマンド

コマンド	説明
uddl	アグレッシブモード UDDL または標準モード UDDL をイネーブルにしたり、設定可能なメッセージ時間を設定したりします。
uddl port	インターフェイス上で UDDL をイネーブルにしたり、インターフェイス上でアグレッシブモード UDDL をイネーブルにしたりします。

show version

システム ハードウェアの設定、ソフトウェア バージョン、コンフィギュレーション ファイル名や送信元、およびブート イメージを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

show version

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードまたは引数はありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、システム ハードウェアの設定、ソフトウェア バージョン、コンフィギュレーション ファイル名や送信元、およびブート イメージを表示する例を示します。

```
Router# show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) c6sup2_rp Software (c6sup2_rp-JSV-M), Version 12.1(nightly.E020626) NIG
HTLY BUILD
Copyright (c) 1986-2002 by cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 26-Jun-02 06:20 by
Image text-base: 0x40008BF0, data-base: 0x419BA000

ROM: System Bootstrap, Version 12.1(11r)E1, RELEASE SOFTWARE (fc1)

Router uptime is 2 weeks, 8 hours, 48 minutes
Time since Router switched to active is 1 minute
System returned to ROM by power-on (SP by power-on)
System image file is "sup-bootflash:c6sup22-jsv-mz"

cisco Catalyst 6000 (R7000) processor with 112640K/18432K bytes of memory.
Processor board ID SAD06210067
R7000 CPU at 300Mhz, Implementation 39, Rev 3.3, 256KB L2, 1024KB L3 Cache
Last reset from power-on
Bridging software.
X.25 software, Version 3.0.0.
SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp).
TN3270 Emulation software.
3 Virtual Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)
48 FastEthernet/IEEE 802.3 interface(s)
381K bytes of non-volatile configuration memory.

16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 512K).
Configuration register is 0x2102
Router#
```


表 2-88 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-88 show version のフィールドの説明

フィールド	説明
IOS (tm) c6sup2_rp Software (c6sup2_rp-JSV-M), Version 12.1(nightly.E020626) NIGHTLY BUILD	バージョン番号です。可能性のあるソフトウェア問題を報告する場合は、必ず完全なバージョン番号を指定してください。出力例では、バージョン番号は 12.1 です。
ROM: System Bootstrap, Version 12.1(11r)E1, RELEASE SOFTWARE (fc1)	ブートストラップ バージョン スtring
BOOTFLASH: 7200 Software (C7200-BOOT-M), Version 11.1(472), RELEASE SOFTWARE	ブート バージョン スtring
Router uptime is	システムが起動してから、稼動している時間
Time since Router switched to active	スイッチオーバーが発生してからの時間
System restarted by	システムが最後に起動したときの方法（通常システム起動およびシステム エラー）のログです。たとえば、以下のように、存在しないアドレスへのアクセスを試みた場合に通常発生するバス エラーを示す情報が表示されることがあります。 System restarted by bus error at PC 0xC4CA, address 0x210C0C0
System image file is	ソフトウェアがネットワークを介して起動された場合、ブートホストのインターネット アドレスが表示されます。ソフトウェアがオンボード ROM からロードされた場合は、この行に [running default software] と表示されます。
cisco Catalyst 6000 (R7000) processor with 112640K/18432K bytes of memory.	ハードウェア設定オプションおよび非標準ソフトウェア オプションを表示する、それぞれの残りの出力
Configuration register is	16 進表記で表示されたコンフィギュレーション レジスタの内容

show version EXEC コマンドの出力には、バス エラー メッセージなどの特定のメッセージが含まれることがあります。このようなエラー メッセージが表示された場合は、テクニカル サポート担当者にこのメッセージの全文を報告してください。

show vlan

VLAN 情報を表示するには、**show vlan** コマンドを使用します。

show vlan [**{brief | {id vlan-id} | {name name} [ifindex]} | ifindex**]

シンタックスの説明	brief	(任意) VLAN ごとに、VLAN 名、ステータス、およびポートを 1 行で表示します。
	id <i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID 番号によって識別される単一 VLAN に関する情報を表示します。有効値は 1 ~ 4094 です。
	name <i>name</i>	(任意) VLAN 名によって識別される単一 VLAN に関する情報を表示します。有効値は 1 ~ 32 文字の ASCII 文字列です。
	ifindex	(任意) VLAN の ifIndex 番号を表示します。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン 各イーサネット スイッチ ポートおよびイーサネット リピータ グループが属するのは、1 つの VLAN だけです。トランク ポートは複数の VLAN に属することができます。

state suspend または **state active** コマンドを使用して VLAN をシャットダウンした場合、次の値が Status フィールドに表示されます。

- **suspended** : VLAN は一時停止です。
- **active** : VLAN はアクティブです。

shutdown コマンドを使用して VLAN をシャットダウンした場合、次の値が Status フィールドに表示されます。

- **act/lshut** : VLAN ステータスはアクティブですが、ローカルにシャットダウンされています。
- **sus/lshut** : VLAN ステータスは一時停止ですが、ローカルにシャットダウンされています。

VLAN が内部的にシャットダウンされている場合、次の値が Status フィールドに表示されます。

- **act/ishut** : VLAN ステータスはアクティブですが、内部的にシャットダウンされています。
- **sus/ishut** : VLAN ステータスは一時停止ですが、内部的にシャットダウンされています。

VLAN がローカルかつ内部的にシャットダウンされている場合、Status フィールドに表示される値は **act/ishut** または **sus/ishut** です。VLAN がローカルだけでシャットダウンされている場合、Status フィールドに表示される値は **act/lshut** または **sus/lshut** です。

VLAN 範囲はハイフンで区切り、複数の VLAN はカンマで区切ります。間にスペースは入れません。たとえば、次のように入力します。

```
Router# show vlan id 1-4,3,7,5-20
```

例

次に、アクティブで内部的にシャットダウンされている VLAN (VLAN0002) の出力例を示します。

```
Router# show vlan
VLAN Name                Status    Ports
-----
1      default                active    Fa5/9
2      VLAN0002                act/ishut Fa5/9
<...Output truncated...>
```

次に、アクティブでローカルにシャットダウンされている VLAN (VLAN0002) の出力例を示します。

```
Router# show vlan
VLAN Name                Status    Ports
-----
1      default                active    Fa5/9
2      VLAN0002                act/lshut Fa5/9
<...Output truncated...>
```

次に、管理ドメイン内のすべての VLAN に関する VLAN パラメータを表示する例を示します。

```
Router# show vlan
VLAN Name                Status    Ports
-----
1      default                active    Fa5/9
2      VLAN0002                active    Fa5/9
3      VLAN0003                active    Fa5/9
4      VLAN0004                active    Fa5/9
5      VLAN0005                active    Fa5/9
6      VLAN0006                active    Fa5/9
<...Output truncated...>
```

```
1004 fddinet-default        active    Fa5/9
1005 trbrf-default         active    Fa5/9

VLAN Type SAID      MTU    Parent RingNo BridgeNo Stp  BrdgMode Trans1 Trans2
-----
1      enet  100001   1500  -      -      -      -   -         0      0
2      enet  100002   1500  -      -      -      -   -         0      0
3      enet  100003   1500  -      -      -      -   -         303    0
4      enet  100004   1500  -      -      -      -   -         304    0
5      enet  100005   1500  -      -      -      -   -         305    0
6      enet  100006   1500  -      -      -      -   -         0      0
10     enet  100010   1500  -      -      -      -   -         0      0
<...Output truncated...>
```

```
Remote SPAN VLANs
-----
2, 20
```

```
Primary Secondary Type          Ports
-----
Router#
```

次に、VLAN 名、ステータス、および対応付けられたポートだけを表示する例を示します。

```
Router# show vlan brief
VLAN Name                Status    Ports
-----
1      default                active    Fa5/9
2      VLAN0002                active    Fa5/9
```

show vlan

```

3    VLAN0003                act/lshut Fa5/9
4    VLAN0004                act/lshut Fa5/9
5    VLAN0005                active    Fa5/9
10   VLAN0010                active    Fa5/9
.
.
.
999  VLAN0999                active    Fa5/9
1002 fddi-default            active    Fa5/9
1003 trcrf-default           active    Fa5/9
1004 fddinet-default         active    Fa5/9
1005 trbrf-default           active    Fa5/9
Router#

```

次に、複数の VLAN の VLAN パラメータを表示する例を示します。

Router# **show vlan id 1-4,3,7,5-20**

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa5/7, Fa5/12
2 VLAN0002	active	
3 VLAN0003	act/lshut	
4 VLAN0004	act/lshut	
5 VLAN0005	active	
6 VLAN0006	active	
10 VLAN0010	active	
20 VLAN0020	active	

VLAN	Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1	enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
2	enet	100002	1500	-	-	-	-	-	0	0
3	enet	100003	1500	-	-	-	-	-	303	0
4	enet	100004	1500	-	-	-	-	-	304	0
5	enet	100005	1500	-	-	-	-	-	305	0
6	enet	100006	1500	-	-	-	-	-	0	0
10	enet	100010	1500	-	-	-	-	-	0	0
20	enet	100020	1500	-	-	-	-	-	0	0

Remote SPAN VLANs

Primary	Secondary	Type	Ports
-----	-----	-----	-----

Router#

次に、VLAN 10 の ifIndex 番号だけを表示する例を示します。

Router# **show vlan id 10 ifindex**

```

VLAN Ifindex
----
10    37
Router#

```

表 2-89 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-89 show vlan コマンドの出カフィールド

フィールド	説明
VLAN	VLAN 番号
Name	VLAN 名 (設定されている場合)
Status	VLAN のステータス (active または suspend、act/lshut または sus/lshut、act/ishut または sus/ishut)
Ports	VLAN に属するポート
Type	VLAN のメディア タイプ
SAID	VLAN のセキュリティ アソシエーション ID
MTU	VLAN の最大伝送ユニット サイズ
Parent	親 VLAN (存在する場合)
RingNo	VLAN のリング番号 (該当する場合)
BrdgNo	VLAN のブリッジ番号 (該当する場合)
Stp	VLAN で使用されるスパンニングツリー プロトコル タイプ
BrdgMode	この VLAN のブリッジング モード：可能な値は Source-Route Bridging (SRB; ソースルートブリッジング) および Source-Route Transparent (SRT; ソースルートトランスペアレント) で、デフォルトは SRB です。
AREHops	All-Routes Explorer フレームの最大ホップ数：可能な値は 1 ~ 13、デフォルトは 7 です。
STEHops	Spanning-Tree Explorer フレームの最大ホップ数：可能な値は 1 ~ 13、デフォルトは 7 です。
Backup CRF	Token Ring Concentrator Relay Function (TrCRF; トークンリング コンセントレータリレー機能) がトラフィックのバックアップパスであるかどうかを示すステータス
Ifindex	ifIndex の番号
Remote SPAN VLAN	RSPAN のステータス
Primary	プライマリ VLAN の番号
Secondary	セカンダリ VLAN の番号
Ports	VLAN 内のポートを指定します。
Type	VLAN のタイプ：可能な値は primary、isolated、community、non_operation、または normal です。

関連コマンド

コマンド	説明
show vlan private-vlan	PVLAN 情報を表示します。
vlan (config-VLAN submode)	特定の VLAN を設定します。
vtp	グローバル VTP ステートを設定します。

show vlan access-log

設定されたロギング プロパティ、フロー テーブルの内容、統計情報などの VACL ロギングに関する情報を表示するには、**show vlan access-log** コマンドを使用します。

show vlan access-log config

show vlan access-log flow protocol *{{src-addr src-mask} | any | {host {hostname | host-ip}}}* *{{dst-addr dst-mask} | any | {host {hostname | host-ip}}}* [**vlan** *vlan-id*]

show vlan access-log statistics

シンタックスの説明

config	設定された VACL ロギング プロパティを表示します。
flow	VACL フロー テーブルの内容を表示します。
<i>protocol</i>	プロトコル名または番号。有効値は icmp 、 igmp 、 ip 、 tcp 、 udp 、またはプロトコルを指定する 0 ~ 255 の番号です。
<i>src-addr src-mask</i>	送信元のアドレスおよびマスク
any	任意のホストに関する情報を表示します。
host <i>hostname</i>	ホスト名の情報を表示します。
host <i>host-ip</i>	IP アドレスに関する情報を表示します。
<i>dst-addr dst-mask</i>	宛先のアドレスおよびマスク
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 特定の VLAN に関する情報を表示します。有効値は 1 ~ 4094 です。
statistics	パケット数、メッセージ数などの統計情報を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例

次に、設定された VACL ロギング プロパティを表示する例を示します。

```
Router# show vlan access-log config
VACL Logging Configuration:
    max log table size      :500
    log threshold          :4000
    rate limiter           :3000
Router#
```

次に、VACL の統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show vlan access-log statistics
VACL Logging Statistics:
    total packets      :0
    logged             :0
    dropped            :0
Dropped Packets Statistics:
    unsupported protocol :0
    no packet buffer    :0
    hash queue full     :0
    flow table full     :0
Misc Information:
    VACL Logging LTL Index :0x7E02
    free packet buffers    :8192
    log messages sent     :0
    log table size        :0
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
vlan access-log	ログ テーブル サイズ、リダイレクト パケット レート、ロギング しきい値 などの VACL ロギング プロパティを設定します。

show vlan access-map

VLAN アクセス マップの内容を表示するには、**show vlan access-map** コマンドを使用します。

show vlan access-map [*map-name*]

シンタックスの説明	<i>map-name</i> (任意) VLAN アクセス マップ名
-----------	-------------------------------------

コマンドのデフォルト	このコマンドにはデフォルト設定がありません。
------------	------------------------

コマンド モード	特権 EXEC (#)
----------	-------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、VLAN アクセス マップの内容を表示する例を示します。

```
Router# show vlan access-map mordred
Vlan access-map "mordred" 1
    match: ip address 13
    action: forward capture
Router#
show vlan counters
```

関連コマンド	コマンド	説明
	action	パケットの action 句を設定します。
	match	VLAN アクセス マップ シーケンスの ACL を 1 つまたは複数選択して、match 句を指定します。
	vlan access-map	VLAN アクセス マップを作成するか、VLAN アクセス マップ コマンド モードを開始します。

show vlan counters

ソフトウェア キャッシュ カウンタ値を表示するには、**show vlan counters** コマンドを使用します。

show vlan [id *vlanid*] counters

シンタックスの説明	id <i>vlanid</i> (任意) 特定の VLAN のソフトウェアキャッシュ カウンタ値を表示します。有効値は 1 ~ 4094 です。
------------------	--

コマンドのデフォルト	このコマンドにはデフォルト設定がありません。
-------------------	------------------------

コマンドモード	特権 EXEC (#)
----------------	-------------

コマンドの履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">リリース</th> <th style="border: none;">変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">12.2(18)ZY</td> <td style="border: none;">このコマンドのサポートが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。
リリース	変更内容				
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。				

使用上のガイドライン **show vlan id counters** コマンドは SVI ではサポートされていません。

レイヤ 2 およびレイヤ 3 VLAN インターフェイスおよびルータ ポートの場合、インターフェイス単位のスイッチング統計情報および VLAN カウンタ情報が、約 3 分間隔で PISA にエクスポートされます。

引数を指定しないで **show vlan counters** コマンドを入力した場合は、すべての VLAN のソフトウェア キャッシュ カウンタ値が表示されます。

例 次に、特定の VLAN のソフトウェアキャッシュ カウンタ値を表示する例を示します。

```
Router> show vlan id 205 counters
VLAN vlanid 205
L2-Unicast-Pkts      10
L3-In-Unicast-Pkts   0
L3-Out-Unicast-Pkts  0
L2-NonUnicast-Pkts + L3-In-NonUnicast-Pkts  5
L3-Out-NonUnicast-Pkts  6
L2-Unicast-Octets    6
L3-In-Unicast-Octets 6
L3-Out-Unicast-Octets 6
L2-NonUnicast-Octets + L3-In-NonUnicast-Octets 6
L3-Out-NonUnicast-Octets 6
```

関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">コマンド</th> <th style="border: none;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">clear vlan counters</td> <td style="border: none;">指定された VLAN または既存のすべての VLAN でソフトウェア キャッシュされたカウンタ値をゼロにクリアします。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	clear vlan counters	指定された VLAN または既存のすべての VLAN でソフトウェア キャッシュされたカウンタ値をゼロにクリアします。
コマンド	説明				
clear vlan counters	指定された VLAN または既存のすべての VLAN でソフトウェア キャッシュされたカウンタ値をゼロにクリアします。				

show vlan dot1q tag native

ネイティブ VLAN のタグging情報を表示するには、**show vlan dot1q tag native** コマンドを使用します。

show vlan dot1q tag native

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードまたは引数はありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード 特権 EXEC (#)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、ネイティブ VLAN タグging情報を表示する例を示します。

```
Router# show vlan dot1q tag native
dot1q native vlan tagging is enabled
Internal dot1q native vlan: 1015
```

```
Router#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	vlan dot1q tag native	トランク内のすべての VLAN の 802.1Q タグgingをイネーブルにします。

show vlan filter

VLAN フィルタに関する情報を表示するには、**show vlan filter** コマンドを使用します。

```
show vlan filter [{access-map map-name} | {vlan vlan-id} | {interface interface
interface-number}]
```

シンタックスの説明

access-map <i>map-name</i>	(任意) 指定されたマップでフィルタリングされた VLAN を表示します。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 指定された VLAN のフィルタを表示します。有効値は 1 ~ 4094 です。
interface <i>interface</i>	インターフェイス タイプを指定します。有効値は pos 、 atm 、または serial です。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

show vlan filter map-name interface コマンドが対応しているのは、ATM、POS、またはシリアル インターフェイス タイプだけです。システムにこれらのインターフェイス タイプが装備されていない場合は、**interface interface interface-number** キーワードおよび引数を使用できません。

interface-number 引数はモジュールおよびポート番号を指定します。*interface-number* の有効値は、指定されたインターフェイス タイプ、および使用されるシャーシとモジュールによって異なります。たとえば、13 スロット シャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合に、ギガビット イーサネット インターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 2 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 になります。

オプションのキーワードおよび引数を指定しなければ、すべてのマッピングが表示されます。

access-map map_name を入力した場合は、指定されたマップに対応付けられたすべての VLAN および インターフェイスが表示されます。**vlan vlan-id** または **interface interface interface-number** を入力した場合は、対応付けられたアクセス マップ (存在する場合) が表示されます。

VLAN の VACL に対する出力の意味は、次のとおりです。

- Configured on VLANs : ユーザにより設定済み
- Active on VLANs : VACL がアクティブである VLAN リスト

例 次に、VACL と VLAN 間、VACL とインターフェイス間のマッピングを表示する例を示します。

```
Router# show vlan filter
VLAN Map mordred:
  Configured on VLANs: 2,4-6
  Active on VLANs: 2,4-6
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
vlan access-map	VLAN アクセス マップを作成するか、VLAN アクセス マップ コマンド モードを開始します。
vlan filter	VLAN アクセス マップを適用します。

show vlan internal usage

内部 VLAN 割り当てに関する情報を表示するには、**show vlan internal usage** コマンドを使用します。

show vlan [id vlan-id] internal usage

シンタックスの説明	id vlan-id	(任意) 指定された VLAN の内部 VLAN 割り当て情報を表示します。有効値は 1 ~ 4094 です。
------------------	-------------------	---

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドのデフォルト 特権 EXEC (#)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン 場合により、出力には次のものが表示されます。

workaround vlan

ワークアラウンド VLAN は、PFC ベースのポリシングを PWAN1 メイン インターフェイス上でイネーブル化するために使用します。ワークアラウンド VLAN を使用しなければ、パケットは PWAN1 について PFC ポリサーを 2 回ヒットします。パケットが PXF 処理の前後にローカル バスを通過する際、同じ VLAN が使用されるからです。

使用上のガイドライン **show vlan internal usage** コマンドを入力すると、イーサネット インターフェイスが表示されます。

例 次に、現在の内部 VLAN 割り当てを表示する例を示します。

```
Router# show vlan internal usage
```

```
VLAN Usage
-----
1025 -
1026 -
1027 -
1028 -
1029 Port-channel6
1030 GigabitEthernet1/2
1032 FastEthernet3/20
1033 FastEthernet3/21
1129 -
```

次に、特定の VLAN の内部 VLAN 割り当てを表示する例を示します。

```
Router# show vlan id 1030 internal usage
```

```
VLAN Usage
```

```
-----  
1030 GigabitEthernet1/2
```

show vlan mapping

802.1Q VLAN と ISL VLAN のマッピングを登録するには、**show vlan mapping** コマンドを使用します。

show vlan mapping

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードまたは引数はありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、802.1Q VLAN と ISL VLAN のマップのリストを表示する例を示します。

```
Router# show vlan mapping
802.1Q Trunk Remapped VLANs:
802.1Q VLAN ISL VLAN
-----
101          202
200          330
Router#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show interfaces vlan mapping	ポート上の VLAN マッピングのステータスを表示します。
	switchport vlan mapping enable	スイッチ ポート単位で VLAN マッピングをイネーブルにします。

show vlan private-vlan

PVLAN 情報を表示するには、**show vlan private-vlan** コマンドを使用します。

show vlan private-vlan [type]

シンタックスの説明 **type** (任意) PVLAN タイプ (isolated、community、または primary) を表示します。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン **show vlan private-vlan type** コマンドの出力に、タイプとして [normal] が表示されている場合は、PVLAN に通常の VLAN が設定されています。[normal] が表示されている場合は、タイプを設定する前に 2 つの VLAN が対応付けられていて、PVLAN が動作していません。この情報は、デバッグ時に役立ちます。

例 次に、現在設定されているすべての PVLAN に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show vlan private-vlan

Primary Secondary Type                Ports
-----
2         301      community    Fa5/3, Fa5/25
2         302      community
2         10       community
100      101      isolated
150      151      non-operational
         202      community
         303      community
401      402      non-operational
Router#
```

次に、現在設定されているすべての PVLAN タイプに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show vlan private-vlan type

Vlan Type
-----
202 primary
303 community
304 community
305 community
306 community
307 community
```



```
308 normal
309 community
440 isolated
Router#
```

表 2-90 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-90 show vlan private-vlan コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Primary	プライマリ VLAN の番号
Secondary	セカンダリ VLAN の番号
Secondary-Type	セカンダリ VLAN タイプ：可能な値は isolated または community です。
Ports	VLAN 内のポートを指定します。
Type	VLAN のタイプ：可能な値は primary、isolated、community、non_operation、または normal です。

関連コマンド

コマンド	説明
private-vlan mapping	プライマリ VLAN とセカンダリ VLAN のマッピングを作成して、両方の VLAN で同じプライマリ VLAN SVI を共有できるようにします。
private-vlan	PVLAN、および PVLAN とセカンダリ VLAN とのアソシエーションを設定します。

show vlan remote-span

RSPAN VLAN のリストを表示するには、**show vlan remote-span** を使用します。

show vlan remote-span

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードまたは引数はありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、RSPAN VLAN のリストを表示する例を示します。

```
Router# show vlan remote-span
Remote SPAN VLANs
-----
2,20
```

関連コマンド	コマンド	説明
	remote-span	VLAN を RSPAN VLAN として設定します。
	vlan (config-VLAN submode)	特定の VLAN を設定します。

show vlans

Cisco IOS VLAN サブインターフェイスに関する情報を表示するには、**show vlans** コマンドを使用します。

show vlans [*vlan*]

シンタックスの説明 *vlan* (任意) VLAN ID 番号を指定します。有効値は 1 ~ 4094 です。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン EXEC モードで **show vlan** コマンドを使用すると、レイヤ 2 VLAN に関する情報が表示されます。特権 EXEC モードで **show vlans** コマンドを使用すると、レイヤ 3 の VLAN サブインターフェイス情報が表示されます。

show vlans コマンドを入力する場合は、**vlans** キーワードの短縮形を使用できません。

例 次に、Cisco IOS VLAN サブインターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show vlans
Virtual LAN ID: 122 (Inter Switch Link Encapsulation)
VLAN Trunk Interface: GE-WAN9/1.1
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted:
IP 10.122.0.2 18 16
Virtual LAN ID: 123 (Inter Switch Link Encapsulation)
VLAN Trunk Interface: GE-WAN9/1.2
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted:
IP 10.123.0.2 13 16
Virtual LAN ID: 124 (Inter Switch Link Encapsulation)
VLAN Trunk Interface: GE-WAN9/1.3
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted:
IP 10.124.0.2 0 17
Virtual LAN ID: 133 (Inter Switch Link Encapsulation)
VLAN Trunk Interface: GE-WAN9/3.1
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted:
IP 11.133.0.1 0 1
Virtual LAN ID: 134 (Inter Switch Link Encapsulation)
VLAN Trunk Interface: GE-WAN9/3.2
Protocols Configured: Address: Received: Transmitted:
IP 11.134.0.1 0 1
Router#
```

表 2-91 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-91 show vlans コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Virtual LAN ID	VLAN のドメイン番号
VLAN Trunk Interface	VLAN トラフィックを伝送するサブインターフェイス
Protocols Configured	VLAN に設定されたプロトコル
Address	ネットワーク アドレス
Received	受信されたパケット数
Transmitted	送信されたパケット数

show vlan virtual-port

必要な論理仮想ポート数を表示するには、**show vlan virtual-port** コマンドを使用します。

show vlan virtual-port [slot num]

シンタックスの説明 **slot num** (任意) ステータスを表示するスロット番号を指定します。

コマンドのデフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード EXEC (>)

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

例 次に、指定されたスロットに必要な論理仮想ポート数を表示する例を示します。

```
Router# show vlan virtual-port slot 3
Slot 3
Port          Virtual-ports
-----
Fa3/1         1
Fa3/2         1
Fa3/3         1
Fa3/4         1
Fa3/5         1
Fa3/6         1
Fa3/7         1
Fa3/8         1
Fa3/11        1
Fa3/12        1
Fa3/13        1
.
.
.
Fa3/33        4
Fa3/34        4
Fa3/35        4
Fa3/36        4
Fa3/37        4
Fa3/38        4
Fa3/39        4
Fa3/40        4
Total virtual ports:82
Router#
```

次にすべてのスロットに必要な論理仮想ポート数を表示する例を示します。

```
Router# show vlan virtual-port
Slot 1
-----
Total slot virtual ports 1
```

```
Slot 3
-----
Total slot virtual ports 82
Slot 4
-----
Total slot virtual ports 4
Total chassis virtual ports 87
Router#
```

show vtp

VTP 統計情報とドメイン情報を表示するには、**show vtp** コマンドを使用します。

show vtp {counters | status}

シンタックスの説明

counters	VTP 統計に関する情報を表示します。
status	VTP ドメイン ステータスに関する情報を表示します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンドモード

EXEC (>)

コマンドの履歴

リリース	変更内容
12.2(18)ZY	このコマンドのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン

show vtp status コマンドの出力では、最後に変更した時間が修飾子自身の時間になります。たとえば、「Configuration last modified by 7.0.22.11 at 5-5-06 05:51:49」の行に表示される時間は、修飾子 (7.0.22.11) が最後に VLAN 設定を変更した時間です。

例

次に、VTP の統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show vtp counters
VTP statistics:
Summary advertisements received      : 1
Subset advertisements received      : 1
Request advertisements received     : 0
Summary advertisements transmitted  : 31
Subset advertisements transmitted   : 1
Request advertisements transmitted  : 0
Number of config revision errors    : 0
Number of config digest errors      : 0
Number of V1 summary errors         : 0

VTP pruning statistics:

Trunk          Join Transmitted Join Received  Summary advts received from
-----          -----          -----          -----
Fa5/9          1555          1564          0
Router#
```

次に、VTP ドメインのステータスを表示する例を示します。

```
Router# show vtp status
VTP Version          : 2
Configuration Revision : 250
Maximum VLANs supported locally : 1005
```

```

Number of existing VLANs      : 33
VTP Operating Mode           : Server
VTP Domain Name              : Lab_Network
VTP Pruning Mode             : Enabled
VTP V2 Mode                  : Enabled
VTP Traps Generation         : Disabled
MD5 digest                   : 0xE6 0xF8 0x3E 0xDD 0xA4 0xF5 0xC2 0x0E
Configuration last modified by 172.20.52.18 at 9-22-99 11:18:20
Local updater ID is 172.20.52.18 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
Router#

```

次に、**show vtp** 出力内に、**Summary** という語を含む行だけを表示する例を示します。

```

Router# show vtp counters | include Summary
Summary advertisements received      : 1
Summary advertisements transmitted : 32
Trunk          Join Transmitted Join Received      Summary advts received from
Router#

```

表 2-92 に、この例で表示されるフィールドについて説明します。

表 2-92 show vtp コマンドの出力フィールド

フィールド	説明
Summary advts received	受信されたサマリー アドバタイズの総数
Subset advts received	受信されたサブセット アドバタイズの総数
Request advts received	受信されたリクエスト アドバタイズの総数
Summary advts transmitted	送信されたサマリー アドバタイズの総数
Subset advts transmitted	送信されたサブセット アドバタイズの総数
Request advts transmitted	送信されたリクエスト アドバタイズの総数
No of config revision errors	コンフィギュレーション リビジョン エラーの数
No of config digest errors	コンフィギュレーション ダイジェスト エラーの数
Trunk	VTP プルーニングに参加するトランク ポート
Join Transmitted	送信された VTP プルーニング join の数
Join Received	受信された VTP プルーニング join の数
Summary advts received from non-pruning-capable device	プルーニング非対応装置から受信されたサマリー アドバタイズの数
Number of existing VLANs	ドメイン内の VLAN の総数
Configuration Revision	VLAN 情報を交換するために使用される VTP リビジョン番号
Maximum VLANs supported locally	装置で許可されている VLAN の最大数
Number of existing VLANs	既存の VLAN 数
VTP Operating Mode	VTP がイネーブルとディセーブルのいずれに設定されているかを示すステータス
VTP Domain Name	VTP ドメイン名
VTP Pruning Mode	VTP プルーニングがイネーブルとディセーブルのどちらに設定されているかを示すステータス
VTP V2 Mode	VTP V2 モードのステータス (server、client、または transparent)

表 2-92 show vtp コマンドの出力フィールド (続き)

フィールド	説明
VTP Traps Generation	VTP トラップ生成モードがイネーブルとディセーブルのいずれに設定されているかを示すステータス
MD5 digest	チェックサム値

関連コマンド

コマンド	説明
vtp	グローバル VTP ステートを設定します。

■ show vtp